

の超長周期の劣化が顕在化してきています。このような経年設備の維持管理は、年々重要性を増してきているのが実情です。

近年、国内製造業で発生している火災や爆発、倒壊などの事故の多くが、設備の老朽化や設備を熟知したベテラン社員の退職等が原因で起こっていると言われていています。弊社も例外ではなく、様々！ ~~また設備の管理高度化~~を推進しています。

最大の課題は、製鉄所に数百万点におよぶ設備や機器が存在することです。これらを、従来手法の延長線上で維持管理すると膨大なマンパワーとコストが必要となり、現実的ではありません。より効率的な計測や診断そして管理方法が、高度化の課題として求められます。

弊社では、この高度化すべき課題を大きく4つの技術分野に分けて推進してきました。1つは、全社統一管理システムの構築による設備管理の効率化です。2つ目は、劣化部位を